

令和5(2023)年度

科学研究費助成事業

科研費

公募要領

学術変革領域研究（A）（公募研究）、
新学術領域研究（終了研究領域）

（応募書類の様式・記入要領）

令和4(2022)年8月1日

文部科学省

目 次

1 学術変革領域研究（A）（公募研究）

研究計画調書 作成・記入要領	3
研究計画調書 全体イメージ	5
応募情報（Web 入力項目） 作成・入力要領	18
応募情報（Web 入力項目） 画面イメージ	24

2 新学術領域研究（終了研究領域）

研究計画調書 作成・記入要領	36
研究計画調書 全体イメージ	38
応募情報（Web 入力項目） 作成・入力要領	49
応募情報（Web 入力項目） 画面イメージ	54

学術変革領域研究（A）（公募研究）

【研究計画調書】

令和 5 (2023) 年度 学術変革領域研究 (A) (公募研究)

研究計画調書作成・記入要領

研究計画調書は、科研費の交付を申請しようとする者が、公募要領に基づいてあらかじめ当該研究計画に関する内容を記入し、文部科学大臣宛て提出するものであり、科学技術・学術審議会における審査資料となるものである。

ついては、下記の点に留意した上で、誤りのないように作成すること。

なお、科学技術・学術審議会における審査の結果、採択された場合には、交付内定の通知が行われ、この通知に基づき交付申請書を提出し、研究計画等が適正と認められた場合に科研費が交付されることになる。

記

- ・この作成・記入要領は、「学術変革領域研究 (A) (公募研究)」の研究計画調書を作成するための要領である。
- ・研究計画調書の作成に当たっては、公募要領に基づいて、研究代表者が責任を持って作成すること。
- ・審査においては多数の応募研究課題が審査に付されることを考慮し、本文は 11 ポイント以上（英語の場合は 10 ポイント以上）の大きさの文字等を使用すること。
- ・研究計画調書は、「Ⅰ. 応募情報 (Web 入力項目)」、「Ⅱ. 研究計画調書【様式 S-74】（添付ファイル項目）」から構成される。
- ・各項目のタイトルが必ず頁の先頭に来るようにすること。また、各項目で定められた頁数を超えないこと。なお、各項目の指示に沿って作成をした結果、空白の頁が生じても構わないが、その場合、空白の頁を削除しないこと。
- ・様式上の留意事項については削除すること。また、それ以外の指示書き及び囲み枠は削除しないこと。
- ・英語で記入された研究計画調書も受け付ける。
- ・研究計画調書の提出後は、差替え等を認めないため、提出前に、PDF ファイルに変換された研究計画調書の内容に不備（文字や図表等の欠落、文字化け等）がないか、必ず確認すること。

Ⅰ 応募情報 (Web 入力項目)

以下の項目は、「研究計画調書」の「応募情報 (Web 入力項目)」であり、作成に当たっては、研究代表者が所属する研究機関から付与された「府省共通研究開発管理システム (e-Rad)」の ID・パスワードにより科研費電子申請システム（以下「電子申請システム」という。）にアクセスして直接入力を行うこと。

応募情報 (Web 入力項目) は、「電子申請システム」によって作成される研究計画調書 (PDF ファイル) の前半部分（「研究代表者氏名」「最も関連の深い小区分」等）及び後半部分（「研究経費とその必要性」「研究費の応募・受入等の状況」）で構成される。

応募情報 (Web 入力項目) に係る作成・入力要領は、「令和 5 (2023) 年度 学術変革領域研究 (A) (公募研究) 研究計画調書応募情報 (Web 入力項目) 作成・入力要領」(18 頁) を参照すること。

○Web 入力項目「前半部」

「研究課題情報」

- ・研究区分
- ・研究領域・研究項目番号
- ・単年度当たりの応募上限金額

- ・研究代表者氏名
- ・研究代表者所属研究機関・部局・職
- ・学位・エフオー
- ・研究課題名
- ・最も関連の深い小区分
- ・若手研究者であるか否か
- ・開示希望の有無
- ・研究代表者連絡先

○Web入力項目「後半部」
「研究経費とその必要性」
「研究費の応募・受入等の状況」

II 研究計画調書【様式S-74】（添付ファイル項目）

以下の項目は、「研究計画調書（添付ファイル項目）」の内容であり、研究計画調書（PDFファイル）の中間部分に当たる。

研究代表者は、「研究計画調書（添付ファイル項目）」について、文部科学省の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものを、「電子申請システム」にアクセスして添付すること（5MB以上のファイルは添付不可）。

作成に当たっては、下記の指示及びそれぞれの欄の指示に従うこと。また、様式の余白は、上20mm、下20mm、左25mm、右25mmで設定しており、余白の設定を変更すると、審査資料を作成する際、文字等の欠落等の恐れがあるので、設定を変更しないこと。

（1）「1 研究目的、研究方法など」欄

本応募研究課題において何をしようとしているのか、その全体像を明らかにするため、研究計画調書に記載している指示に従って概要を含め記述すること。概要については、10行程度で記述すること。

なお、本欄等において、全体の研究計画を説明する中で必要に応じて「研究協力者」について記述すること。

（2）「2 応募者の研究遂行能力及び研究環境」欄

研究計画調書の指示書きに従って記入すること。

「（1）これまでの研究活動」は、本研究計画の実行可能性を示すよう、本研究計画に関連した研究活動を中心に記述すること。

研究業績（論文、著書、産業財産権、招待講演等）は、網羅的に記載するのではなく、本研究計画の実行可能性を説明する上で、その根拠となる文献等の主要なものを適宜記載すること。

研究業績の記述に当たっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載すること（例として、学術論文の場合は論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年（西暦）、著書の場合はその書誌情報、など）。

論文は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載すること。

産前産後の休暇及び育児休業の取得や、介護休業の取得など、研究活動を中断していた期間がある場合は、その事情を本欄に記述してもよい。

（3）「3 人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄

研究計画調書に記載している指示に従って記述すること。なお、該当しない場合には、「該当なし」と記入すること。

令和5(2023)年度 学術変革領域研究 (A) (公募研究) 研究計画調書

令和XX年XX月XX日
X 版

研究区分			機関・領域・研究 項目・整理番号	00000-000000-000-0000			
研究領域	領域番号	領域略称名					
研究項目番号							
研究代表者 氏名	(フリガナ)						
	(漢字等)						
所属研究機関							
部 局							
職							
学 位							
エフォート							
研究課題名							
研 究 経 費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年度	研究経費 (千円)	使用内訳 (千円)				
			設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
	令和5年度						
	令和6年度						
	総計						
最も関連の 深い小区分		(1)			(2)		
	小区分						
	小区分名						
開示希望の有無							

1 研究目的、研究方法など

本研究の目的と方法などについて記述すること。記述に当たっては、「公募要領に示された公募研究の内容」（公募要領18～51頁を参照）を踏まえること。

冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1) 本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2) 本研究の目的及び学術的独自性と創造性、(3) 本研究の着想に至った経緯や、関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ、(4) 本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、(5) 本研究により、どのような点で当該研究領域の推進に貢献できるか、(6) 本研究の目的を達成するための準備状況、について具体的かつ明確に記述すること（5頁以内）。

（概要）

（本文）

研究計画調書作成に当たって留意すること

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

1. 作成に当たっては、研究計画調書作成・記入要領を必ず確認すること。
2. 本文は11ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。
3. 各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。
4. 指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

2 応募者の研究遂行能力及び研究環境

応募者の研究計画の実行可能性を示すため、(1)これまでの研究活動、(2)研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について記述すること（2頁以内）。

「(1)これまでの研究活動」の記述には、研究活動を中断していた期間がある場合は、その説明などを含めてもよい。

研究計画調書作成に当たって留意すること

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

1. 研究業績（論文、著書、産業財産権、招待講演等）は、網羅的に記載するのではなく、本研究計画の実行可能性を説明する上で、その根拠となる文献等の主要なものを適宜記載すること。

2. 研究業績の記述に当たっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載すること。

（例として、学術論文の場合は論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年（西暦）、著書の場合はその書誌情報など）。

3. 論文は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載すること。

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

【2 応募者の研究遂行能力及び研究環境（つづき）】

3 人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領4頁参照）

本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を記述すること（1頁以内）。

個人情報に伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となる。

該当しない場合には、その旨記述すること。

[illegible]

設備備品費、消耗品費の必要性

[illegible]

旅費、人件費・謝金、その他の必要性

研究費の応募・受入等の状況
(1) 応募中の研究費

研究者氏名					
資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究課題名（研究代表者氏名）	役割	令和5年度の研究経費（期間全体の額）	令和5年度エフォート（％）	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由等（左記の研究課題に応募するに当たっての所属組織・役職）（科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額）
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		

(2) 受入予定の研究費

学術変革(A)(公募) 11-()

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究課題名(研究代表者氏名)	役割	令和5年度の研究経費(期間全体の額)	令和5年度エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由等(左記の研究課題を受入れるに当たっての所属組織・役職)(科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額)
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		
(3) その他の活動					
合 計				(%)	

令和5(2023)年度 学術変革領域研究(A)(公募研究)研究計画調書 応募情報(Web入力項目) 作成・入力要領

応募内容の確認及び審査資料の作成は、応募書類のうち、「研究計画調書」応募情報(Web入力項目)に基づいて行うため、応募情報(Web入力項目)の入力内容によっては当該応募研究課題が審査に付されないことや審査の結果に影響を及ぼすことがある。作成に当たっては十分注意すること。

なお、入力内容の一部(課題名・組織情報・エフォート等)は、e-Radに提供する。

「応募情報入力(学術変革領域選択)」画面から、応募する研究領域の「研究項目番号」及び「単年度当たりの応募上限金額」の位置にある登録ボタンを選択すること。**「研究計画調書管理」画面が表示される。**次に、入力する応募情報(「研究課題情報」、「研究経費とその必要性」、「研究費の応募・受入等の状況」)の「応募情報入力」を選択すること。なお、「応募情報入力画面」において、左上の「Japanese ▶ English」ボタンをクリックすると、英語表記の入力画面に切り替わる。

「研究課題情報」入力画面

1. 研究区分

「公募研究」が表示されていることを確認すること。

2. 研究領域・研究項目番号

応募する研究領域の領域番号・領域略称名及び研究項目番号が表示されていることを確認すること。

3. 単年度当たりの応募上限金額

応募の上限金額が表示されていることを確認すること。表示される上限金額は、研究期間(2年間)全体の総額ではなく、単年度(1年間)当たりの金額であることに留意すること。

4. 研究代表者氏名

e-Radに登録されている研究代表者の情報が自動表示される。氏名が正しく表示されているかどうか確認すること。誤りがある場合は、入力データを一時保存した上で所属研究機関の事務局に連絡し、その指示に従うこと。

5. 研究代表者所属研究機関・部局・職

e-Radに登録されている研究代表者の情報が自動表示される。研究計画調書作成時点での所属情報が正しく表示されているかどうか確認すること。誤りがある場合は、入力データを一時保存した上で所属研究機関の事務局に連絡し、その指示に従うこと。

6. 学位・エフォート

「学位」欄は研究代表者が入力すること。「エフォート」欄は、本応募研究課題が採択された場合を想定した時間の配分率(1~100の整数)を入力すること。

時間の配分率の決定に当たっては、総合科学技術会議におけるエフォートの定義である「研究者の年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち、当該研究の実施に必要となる時間の配分率(%)」という考え方で決定すること。なお、「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指す。

また、本応募研究課題が採択された際には、改めて、その時点におけるエフォートを確認し、エ

フォートに変更がある場合には、e-Rad 上で修正した上で交付申請手続きを行うこととなる。

7. 研究課題名

研究期間終了時までの研究内容を具体的に表すような研究課題名（一般的、抽象的な表現は避けること。）を入力すること。その際、審査においては研究課題名を含めた研究計画調書全体が審査されること、採択された場合には科学研究費助成事業データベース（KAKEN）に掲載され広く公開されることに十分留意の上、研究課題名は研究内容を適切に反映させたものとする。

なお、全角文字を含む場合は80バイト（全角40字）まで、半角文字のみの場合は200バイト（半角200字）まで入力が可能である。

入力に当たっては、全角文字は1文字2バイト、半角文字は1文字1バイトでカウントされる。濁点、半濁点はそれだけで独立して1字とはならないが、全角アルファベット、数字、記号等は全て2バイトとして数えられて表示されることに留意し、化学式、数式の使用は極力避けること（例：「 Ca^{2+} 」を全角で「Ca 2 +」と入力すると8バイトとカウントされる。ただし、半角で「Ca2+」とした場合は4バイトとなる。）。

研究課題名の変更は原則として認めない。

8. 最も関連の深い小区分

電子申請システム上の「一覧」に表示される「科学研究費助成事業「審査区分表」」から、当該応募研究課題の研究内容に最も関連が深いと思われる小区分を関連が深い順に二つまで選定し入力すること（最低一つは選定すること。）。

9. 若手研究者であるか否か

「（0）該当しない」、「（1）2023年4月1日現在で博士号取得後8年未満」、「（2）博士号未取得であるが、2023年4月1日までに博士の学位を取得する予定」又は「（3）2023年4月1日現在で育児休業等の期間を除くと博士号取得後8年未満」のうち、該当するものを選択すること（PDFファイルには変換されない。）。

「（2）博士号未取得であるが、2023年4月1日までに博士の学位を取得する予定」を選択する場合は、「博士号取得見込み年月」及び「取得見込み研究機関」を入力すること。

「（3）2023年4月1日現在で育児休業等の期間を除くと博士号取得後8年未満」を選択する場合は、「産休又は育休期間」を入力すること。

10. 開示希望の有無

採択されなかった場合の書面審査（1段階目の審査）等の結果について、「審査結果の開示を希望する」、「審査結果の開示を希望しない」のうち、該当する区分を選択すること。

※審査結果の「開示」は、科研費電子申請システムを通じてあらかじめ希望した応募者のみに対して行われる（機関担当者を含め、応募者以外は閲覧できない）。

なお、「審査結果の開示を希望しない」を選択した場合は、いかなる理由であっても開示しない。

11. 研究代表者連絡先（PDFファイルには変換されない）

研究代表者と直接連絡が必要な場合に備えた情報を入力すること。

「研究経費とその必要性」入力画面

12. 研究経費とその必要性

各経費の明細及びその必要性・積算根拠について、研究計画調書（添付ファイル項目）を踏まえ入力等を行うこと。なお、応募の上限金額は、研究期間（2年間）全体の総額ではなく、単年度

(1年間)当たりの金額であることに留意すること。

その際、以下に記載している「対象となる経費(直接経費)」及び「対象とならない経費」に留意すること。また、研究期間のいずれかの年度における研究経費の額が10万円未満の研究計画は公募の対象とならないので、注意すること。

「対象となる経費(直接経費)」

研究計画の遂行に必要な経費(研究成果の取りまとめに必要な経費を含む)を対象とします。

「対象とならない経費」

次の経費は対象となりません。

- ① 建物等の施設に関する経費(直接経費により購入した物品を導入することにより必要となる据付等のための経費を除く)
- ② 補助事業遂行中に発生した事故・災害の処理のための経費
- ③ 研究代表者又は研究分担者の人件費・謝金
- ④ その他、間接経費(注)を使用することが適切な経費

注) 研究計画の実施に伴う研究機関の管理等に必要な経費(直接経費の30%に相当する額)であり、研究機関が使用するものです。

今回、公募を行う研究種目には間接経費が措置される予定ですが、研究代表者は、間接経費を応募書類に記載しないこと。

研究経費と使用内訳は、各経費の明細の入力内容から自動で計算される。各経費の明細欄は、入力画面左側の「追加」ボタンを必要数押すことでデータ入力欄が表示される。使用しないデータ入力欄(入力したが使用しない場合や全く入力しなかった場合)については、左側の「削除」ボタンを押してデータ入力欄を削除すること。金額は千円単位で入力し、千円未満の端数は切り捨てること。各経費の明細の入力が全て完了したら、再計算ボタンをクリックすること。なお、出力されるPDFは各2頁が上限となる。

各経費の明細の入力に当たっては、以下の点に留意すること。ただし、以下の例に限らず、各事項をどの費目とするかについては、所属研究機関の会計規程等にのっとり入力すること。

○設備備品費

多数の図書、資料を購入する場合は「西洋中世政治史関係図書」のように、ある程度、図書、資料の内容が判明するような表現で入力すること(図書について、設備備品として取り扱わない場合についても、同様に入力すること。)。また、機械器具の場合は、単に〇〇〇一式とするだけでなく、その内訳も入力すること。

○消耗品費

薬品、実験用動物、ガラス器具等その品名ごとに入力すること。

○設備備品費、消耗品費の必要性

入力した設備備品費及び消耗品費の必要性・積算根拠について入力すること。なお、研究計画のいずれかの年度において、「設備備品費」が当該年度の全体の研究経費の90%を超える場合及び「消耗品費」で特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の研究遂行上の必要性についても入力すること。また、一つの設備備品を研究費の合算使用で購入する場合などには、本応募研究課題で使用する額を単価の欄に入力し、合算使用である旨をこの欄に入力すること。

○国内旅費・外国旅費

研究代表者及び研究協力者の海外・国内出張(資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の成果発表等)のための経費(交通費、宿泊費、日当)等を、その事項ごとに入力すること。

○人件費・謝金

資料整理、実験補助、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アンケートの配付・回収、研究資料の収集等を行う研究協力者(ポストドクター・リサーチアシスタント(RA)・外国の機関に所属す

る研究者等）に係る謝金、報酬、賃金、給与、労働者派遣業者への支払いのための経費等を、その事項ごとに入力すること。また、人件費・謝金の支出を予定している者の協力時の身分等（特任助教、博士研究員、博士後期課程学生、博士前期課程学生 等）が明らかである場合にはその点も記載すること。（例：資料整理（内訳：博士後期課程学生〇人×〇月）・△△△千円、公募要領 9 2 頁参照）

○その他

設備備品費、消耗品費、旅費、人件費・謝金のほか当該研究を遂行するための経費（例：印刷費、複写費、現像・焼付費、通信費（切手、電話等）、運搬費、研究実施場所借り上げ費（研究機関の施設において補助事業の遂行が困難な場合に限る）、会議費（会場借料、食事（アルコール類を除く）費用等）、リース・レンタル費用（コンピュータ、自動車、実験機器・器具等）、機器修理費用、旅費以外の交通費、研究成果発表費用（学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成果広報用パンフレット作成費用、一般市民を対象とした研究成果広報活動費用等）、実験廃棄物処理費、研究代表者の研究以外の業務の代行に係る経費（バイアウト経費、公募要領 7 2 頁参照）等を、その事項ごとに入力すること。

○旅費、人件費・謝金、その他の必要性

入力した旅費、人件費・謝金及びその他の必要性・積算根拠について入力すること。研究計画のいずれかの年度において、「旅費」又は「人件費・謝金」のいずれかの費目が当該年度の全体の研究経費の 9 0 % を超える場合及び「その他」で特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の研究遂行上の必要性についても入力すること。

「研究費の応募・受入等の状況」入力画面

1 3. 研究費の応募・受入等の状況

「研究資金の不合理な重複や過度の集中にならず、研究課題が十分に遂行し得るかどうかが判断する際に参照するので、正確に入力すること。研究計画の研究代表者の応募時点における「（１）応募中の研究費」、「（２）受入予定の研究費」、「（３）その他の活動」について入力及び確認をすること。

- ・「（１）応募中の研究費」の欄の先頭には、本応募研究課題について入力すること。
- ・「（１）応募中の研究費」、「（２）受入予定の研究費」欄には、科研費のみならず他の競争的研究費等（国外のものを含む）（※）についても入力すること。

（※）科研費への応募に当たっては、「統合イノベーション戦略 2020」において「外国資金の受入について、その状況等の情報開示を研究資金申請時の要件」とすることとされたことを踏まえ、令和 3（2021）年度科研費の公募より、研究計画調書の「研究費の応募・受入等の状況」欄に海外からの研究資金についても記入することを明確にしています。国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費などの研究資金について全て記入してください。

なお、秘密保持契約が交わされている共同研究等に関する情報については、以下のとおり取り扱います。

- ・当面の間、既に締結済の秘密保持契約等の内容に基づき提出が困難な場合など、やむを得ない事情により提出が難しい場合は、相手機関名と受入れ研究費金額は入力せずに提出することができます。

なお、今後秘密保持契約等を締結する際、競争的研究費の応募時に、必要な情報に限り提出することがあることを前提とした内容とすることにも留意してください。ただし、秘匿すべき情報の範囲とその正当な理由（企業戦略上著しく重要であり、秘匿性が特に高い情報であると考えられる場合等）について、契約当事者双方が合意すれば、当該秘匿情報の提出を前提としない契約とすることも可能です。

※提出のあった情報については、秘密保持契約が交わされていない情報と同様に配分機関や関係府省間で情報が共有されることがありますが、その際も守秘義務を負っている者のみで共有が行われます

- ・所属研究機関内で、研究活動等を職務として行うため配分されるような基盤的経費については、「（１）応募中の研究費」又は「（２）受入予定の研究費」に入力しないこと。そのような経費を活用して行う研究活動等のエフォートは、「（３）その他の活動」に含まれる。また、科研費の研究協力者として参画している研究課題に係るエフォートは、「（３）その他の活動」に含まれる。

- ・日本学術振興会特別研究員（S P D、P D、R P D、C P D）であって、令和5（2023）年度の特別研究員奨励費の受給を予定している場合には、「（2）受入予定の研究費」に入力すること。なお、日本学術振興会より毎月支給される研究奨励金（研究遂行経費）については、入力しないこと。

「（1）応募中の研究費」欄及び「（2）受入予定の研究費」欄は、入力画面左側の「追加」ボタンを必要な回数押すことでデータ入力欄が表示される。使用しないデータ入力欄（入力したが使用しない場合や全く入力しなかった場合）については、左側の「削除」ボタンを押してデータ入力欄を削除すること。

○「役割」

当該研究者の役割が研究代表者等の場合は「代表」、研究分担者等の場合は「分担」を選択すること。

○「資金制度・研究費名（配分機関名）」

科研費の場合には研究種目を選択すること。科研費以外の場合は「その他」を選択し、下段に研究費の名称と配分機関名を入力すること。

○「研究期間」

研究期間を入力すること。

○「研究課題名」

研究課題名を入力すること。

○「研究代表者氏名」

役割欄で「分担」を選択した場合、当該研究課題の研究代表者（又はそれに相当する者）の氏名を入力すること。

○「2023 年度研究経費（期間全体額）（千円）」

令和5（2023）年度に本人が受け入れ、自ら使用する研究費の直接経費の額（応募中のものは応募額）を上段に入力し、併せて研究期間全体で自ら使用する総額（予定額）を下段に入力すること。

役割欄で「分担」を選択した場合、令和5（2023）年度に本人が受け入れ、自ら使用する分担金の額（予定額）を上段に入力し、併せて研究期間全体で自ら使用する分担金の総額（予定額）を下段に入力すること（分担金が配分されない場合は、それぞれ「0」を入力すること。）。

○「2023 年度エフォート（％）」

本欄に入力する、「（1）応募中の研究費」、「（2）受入予定の研究費」及び「（3）その他の活動」に係る全仕事時間を100％として、そのうち、「（1）応募中の研究費」及び「（2）受入予定の研究費」の研究活動等の実施に必要な時間の配分率（％）を入力すること。「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指す。

科研費において、重複応募は可能であっても、重複して採択されることがない研究種目（特別推進研究等）を入力する場合は、「－」（ハイフン）と入力すること。

また、競争的研究費により研究を行う場合には、当該研究活動に係るエフォートを必ず入力すること。本応募研究課題が採択された際には、改めて、その時点におけるエフォートを確認し、エフォートに変更がある場合には、e-Rad 上で修正した上で交付申請手続きを行うこととなる。

○「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由等」

応募中又は受入予定の研究費と本応募研究課題の研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由について、焦点を絞って明確に入力すること。

なお、当該研究課題を応募又は受け入れるに当たっての所属組織と役職を入力すること。所属組織・役職の入力に当たっては、本応募研究課題に応募するに当たっての所属組織・役職と同様で

あっても、全ての研究課題について入力すること。

また、科研費の研究代表者である場合は、研究分担者の分担金を含む、研究期間全体の直接経費の総額を当該欄に入力すること。

応募情報（Web入力項目）画面イメージ

【学術変革領域研究（A）（公募研究）－研究計画調書（「応募情報（領域選択）」画面）】

JSPS
科研費電子申請システム

ヘルプ
Log out

応募者向けメニュー(Menu for Applicant)>研究計画調書作成(受付中研究種目一覧(Create Research Proposal Document(List of Research Categories Accepting Applications))> **応募情報入力(Enter Application Information)**>応募情報又は研究計画調書確認(Application Information or Research Proposal Document Check)>応募情報又は研究計画調書確認完了(Application Information or Research Proposal Document Confirmed))

応募情報入力(学術変革領域選択)
Enter Application Information (Select Area)

・ 応募する研究領域・研究項目番号・各年度の上限金額を選択し、該当の[登録]ボタンをクリックして進んでください。
Select your application's research area, number of research group, and upper limit of research expenditure and click the relevant [Register] button.

領域番号 Number of Research Area	領域略称名 Title	研究項目番号 Number of Research Group	単年度当たりの応募上限金額(千円) Upper Limit of Annual Budget (Thousands of Yen)	登録 Registration
1234AB	○○○○○○○○○ (abcdefg xxxxx xxxxxxx)	A01	5,000	登録 Register
			3,000	登録 Register
		A02	5,000	登録 Register
			3,000	登録 Register
		A03	5,000	登録 Register
			3,000	登録 Register
A23456	XXX (xxxxx xxxxxxx)	A01	4,000	登録 Register
			2,000	登録 Register
			1,000	登録 Register
		A02	4,000	登録 Register
			2,000	登録 Register
			1,000	登録 Register
		A03	4,000	登録 Register
			2,000	登録 Register
			1,000	登録 Register
		A04	4,000	登録 Register
			2,000	登録 Register
			1,000	登録 Register
AC5612	XXXXXX (xxxxx xxxxxxx)	A01	5,000	登録 Register
BB8912	XXXXXXXXXX (xxxxx xxxxxxx)	A01	5,000	登録 Register
CC3412	△△△△△△ (xxxxx xxxxxxx)	A01	5,000	登録 Register

キャンセル
Cancel

ログアウト
Log out

応募情報（Web入力項目）画面イメージ
【学術変革領域研究（A）（公募研究）－研究計画調書（「研究計画調書管理」画面）】

JSPS
科研費電子申請システム
ヘルプ Help ログアウト Log out

応募者向けメニュー(Menu for Applicant) > 研究計画調書管理(Management of Research Proposal Document)

研究計画調書管理
 Management of Research Proposal Document

研究種目名 Research Category	提出先機関名 Name of Submission Destination Institution	研究課題名 Title of Research Project	作成日 Date of Creation
令和X(20XX)年度 学術変革領域研究(A)(公募研究)	ABCDE大学	〇〇〇における×××の研究	XXXX年XX月XX日

<注意事項>

- 研究計画調書は以下の応募情報を入力して作成します。

< Note >

- By entering the following application information, Research Proposal Document will be created.

応募情報 Application Information	処理状況 Processing Status	応募情報入力 Application Information Input
研究課題情報 Research project information	作成済 Created	修正 Modify
研究経費とその必要性 Research Expenditure and Their Necessity	作成中 Creating	再開 Restart
研究費の応募・受入等の状況 The Status of Application and Acquisition of Research Grants	未作成 Not created yet	 応募情報入力 Application Information Input

<注意事項>

- 添付ファイル項目を全て登録することで、PDFを作成することができます。
- 添付ファイル項目以外の項目が未入力の状態でも、「提出確認用」の透かしの入ったPDFを作成することができます。
- 添付ファイル項目についてはWordファイルの代わりにPDFファイルを選択することも可能です。(PDFファイルは添付ファイル項目様式(Word又は本会並びに文部科学省が提供する様式)を基に作成したものに限りします。)
- 添付ファイル項目の真総数に不足がある場合は、PDF変換時にエラーとなります。
- 添付ファイル項目様式の余白設定を変更すると、エラーとなる場合がありますので、余白設定は変更しないでください。

< Note >

- You can create a PDF file after you finish registering all forms to be uploaded.
- You can create a PDF watermarked as 「提出確認用」(for pre-submission revision) before you enter items other than the items in forms to be uploaded.
- A PDF file can be used instead of a Word file for the forms to be uploaded. (A PDF file must be created using the forms to be uploaded in accordance with the Word file or the format provided by the JSPS or the MEXT)
- If there is a shortage in the total number of pages of the forms to be uploaded, an error will occur during PDF conversion.
- Do not change the margin setting of the forms to be uploaded. Doing so may cause errors.

添付ファイル項目 Forms to be Uploaded	ファイル登録/登録済みファイルダウンロード File Registration / Registered File Download
S-74 参照...	 登録 Register

次へ進む
Next

 戻る
Return

ログアウト
Log out

JSPS
科研費電子申請システム

ヘルプログアウト

応募者向けメニュー> 研究計画調書作成 (応募情報入力> 応募情報又は研究計画調書確認> 応募情報又は研究計画調書確認完了)

応募情報入力

Japanese * English

画面を表示してから29分経過

最終保存日時: XXXX年XX月XX日 XX時XX分

<注意事項>

- *のついた項目は必須項目です。
- 入力中に、一定時間、ボタン操作をせずにおくと、セッションタイムアウトにより、入力した情報が保存されない場合があります。随時[一時保存]ボタンをクリックして情報を保存して下さい。もし、セッションタイムアウトのエラーメッセージが出た場合は、「電子申請のご案内」ページの「よくあるご質問」をご参照下さい。
- 「研究計画調書管理」に戻る場合は、[一時保存をして戻る]ボタンをクリックしてください。
- 複数ウィンドウ (複数タブ) を開いて利用すると、システムが正常に動作しない場合があります。複数ウィンドウでのご利用は控えてください。

一時保存をして次へ進む

一時保存

一時保存をして戻る

保存せずに戻る

令和5(2023)年度 学術変革領域研究 (A) (公募研究) 研究計画調書

研究区分	公募研究		
研究領域 一覧	領域番号	領域略称名	
	123456	○○○○○○○○○○	
研究項目番号	A05		
単年度当たりの応募上限金額	5000 (千円)		

領域選択に戻る

研究代表者氏名	(フリガナ) ダイヒョウ イチロウ (漢字等) 代表 一郎		
所属研究機関	(番号) 99999 AAA大学		
部局	○○部		
職	教授		
学位	*		
エフォート	* %		
研究課題名	(40字以内。英文 (半角) の場合は200字以内。) *		

※【研究経費とその必要性 (千円未満の端数は切り捨てる)】で入力した内容が表示されます。

年度	2023年度	2024年度	総計
研究経費 (千円)			

画面を表示してから29分経過

一時保存

【最も関連の深い小区分】

小区分 一覧	(1)	(2)
	*	
小区分名		

【若手研究者であるか否か】

☐ (0) 該当しない

☐ (1) 2023年4月1日現在で博士号取得後8年未満

☐ (2) 博士号未取得であるが、2023年4月1日までに博士の学位を取得する予定

☐ 博士号取得見込み年月

取得見込み研究機関

* 年 月取得見込み

*

☐ (3) 2023年4月1日現在で育児休業等の期間を除くと博士号取得後8年未満

☐ 産休または育休期間 1

* 年 月から 年 月

☐ 産休または育休期間 2

* 年 月から 年 月

☐ 産休または育休期間 3

* 年 月から 年 月

画面を表示してから29分経過

一時保存

開示希望の有無	*
研究代表者連絡先	電話番号: *
※PDFには変換されません	Email1: *
	Email2:

画面を表示してから29分経過

一時保存

一時保存をして次へ進む

一時保存

一時保存をして戻る

保存せずに戻る

ログアウト

【学術変革領域研究（A）（公募研究）－研究計画調書（「研究経費とその必要性」入力画面）】①

27

応募情報（Web入力項目）画面イメージ

【学術変革領域研究（A）（公募研究）－研究計画調書（「研究経費とその必要性」入力画面）】②

【旅費、人件費・謝金、その他の明細(千円未満の端数は切り捨てる)】

再計算

(金額単位:千円)

国内旅費			
	年度	事項	金額
削除	▽		0
削除	▽		0
削除	▽		0
追加			
合計			0

(金額単位:千円)

外国旅費			
	年度	事項	金額
削除	▽		0
削除	▽		0
削除	▽		0
追加			
合計			0

再計算

(金額単位:千円)

人件費・謝金			
	年度	事項	金額
削除	▽		0
削除	▽		0
削除	▽		0
追加			
合計			0

(金額単位:千円)

その他			
	年度	事項	金額
削除	▽		0
削除	▽		0
削除	▽		0
追加			
合計			0

旅費
人件費・謝金
その他の必要性

(500字以内。英文(半角)の場合は1000字以内。改行は3回まで入力可。改行は表示上0文字ですが、1回あたり全角1文字分として換算されます。
上記の必要性等について、必ず入力してください。)

入力文字数: 0文字

画面を表示してから29分経過

一時保存

→ 一時保存をして次へ進む

一時保存

一時保存をして戻る

保存せずに戻る

ログアウト

応募情報（Web入力項目）画面イメージ

【学術変革領域研究（A）（公募研究）－研究計画調書（「研究費の応募・受入等の状況」入力画面）】

JSPS

科研費電子申請システム

ヘルプ

ログアウト

応募者向けメニュー

研究計画調書作成（応募情報入力）

応募情報又は研究計画調書確認

応募情報又は研究計画調書確認完了

応募情報入力（研究費の応募・受入等の状況）

Japanese・English

画面を表示してから29分経過

最終保存日時：XXXX年XX月XX日 XX時XX分

＜注意事項＞

- *のついた項目は必須項目です。
- 入力中に、一定時間、ボタン操作をせずにおくと、セッションタイムアウトにより、入力した情報が保存されない場合があります。随時[一時保存]ボタンをクリックして情報を保存して下さい。もし、セッションタイムアウトのエラーメッセージが出た場合は、「電子申請のご案内」ページの「よくあるご質問」をご参照下さい。
- 「研究計画調書管理」に戻る場合は、「一時保存をして戻る」ボタンをクリックしてください。
- 複数ウィンドウ（複数タブ）を開いて利用すると、システムが正常に動作しない場合があります。複数ウィンドウでのご利用は控えてください。

一時保存をして次へ進む

一時保存

一時保存をして戻る

保存せずに戻る

令和5(2023)年度 学術変革領域研究（A）（公募研究） 研究計画調書

【研究費の応募・受入等の状況】

※研究課題を入力する場合、入力画面左側の[追加]ボタンを必要な回数押すことでデータ入力枠が設定されます。使用しない欄（入力したが使用しない場合や全く入力しなかった場合）については、当該欄の左側の[削除]ボタンを押してデータ入力枠を削除してください。

本欄は、「研究資金の不合理な重複や過度の集中にならず、研究課題が十分に遂行し得るかどうか」を判断する際に参照しますので、正確に記入してください。本研究の研究代表者の、応募時点における（１）応募中の研究費、（２）受入予定の研究費について入力してください。具体的な入力内容等については、研究計画調書（Web入力項目）作成・入力要綱を参照してください。

- 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、それぞれの研究の実施等に必要となる時間の配分率（%）を入力してください。
- 所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても入力してください。

研究者氏名

代表 一郎

（１）応募中の研究費

役割	1.資金制度・研究費名（配分機関名） 2.研究期間 3.研究課題名 4.研究代表者氏名	2023年度 研究経費 （期間全体額） （千円）	2023年度 エフォート （%）	研究内容の相違点及び 他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由等 （左記の研究課題を応募するに当たっての所属組織・役職） （科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入すること）
代表	1.【本応募研究課題】学術変革領域研究（A）（公募研究） 2.2023年度～2024年度 3.○○○○○○○○○○ 4.	9,999,999 (9,999,999)	XX%	総額 9,999,999千円
削除	1.* 先に「役割」を選択してください 2.（西暦）* 年度～（西暦）* 年度 3.* 4.（姓）*（名）*	* * *（ *（	*% *% *（	* * * 総額* 千円
追加				

（２）受入予定の研究費

役割	1.資金制度・研究費名（配分機関名） 2.研究期間 3.研究課題名 4.研究代表者氏名	2023年度 研究経費 （期間全体額） （千円）	2023年度 エフォート （%）	研究内容の相違点及び 他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由等 （左記の研究課題を受入れるに当たっての所属組織・役職） （科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入すること）
削除	1.* 先に「役割」を選択してください 2.（西暦）* 年度～（西暦）* 年度 3.* 4.（姓）*（名）*	* * *（ *（	*% *% *（	* * * 総額* 千円
追加				

（３）その他の活動

（１）、（２）、（３）のエフォートの合計

XX%
100%

一時保存をして次へ進む

一時保存

一時保存をして戻る

保存せずに戻る

ログアウト

応募情報（Web入力項目）画面イメージ（英語版）
【学術変革領域研究（A）（公募研究）－研究計画調書】

JSPS
科研費電子申請システム
Help Logout

応募者向けメニュー> 研究計画調書作成(Application Information Input)> 応募情報又は研究計画調書確認> 応募情報又は研究計画調書確認完了)

Application Information Input
English + Japanese

29 minutes have been passed since the screen had been displayed.
Last Saved Date : XXXX.XX.XX XX:XX

< Note >

- Field marked in asterisk (*) is mandatory.
- If the system remains idle for a certain period of time, a session time out may clear any information entered. Click [Save Temporarily] periodically to store changes. In such instance, please read the frequently asked questions on the electronic application system information page.
- If you wish to return to "Management of Research Proposal Document", click the [Save Temporarily and Go Back] button.
- The system may experience problems when multiple windows or tabs are opened. Please avoid an access from multiple windows or tabs.

Save Temporarily and Go to Next Save Temporarily Save Temporarily and Go Back Go Back Without Save

Research Proposal Document for "Grant-in-Aid for Transformative Research Areas (A) (Publicly Offered Research)" (FY 2023)

Distinction of Research	公募研究(Publicly Offered Research)		
Research Area	Number of Research Area	Title	
123456		○○○○○○○○○ (xxxxxxxx xxx xxxxxxxxx)	
Number of Research Group	A05		
Upper Limit of Annual Budget	5000 (Thousand Yen)		

Correct Research Area

Name of the Principal Investigator	(Pronunciation in katakana) ダイヒョウ イチロウ (Kanji etc) 代表 一郎		
Research Institution	(Number) 99999	AAA大学	
Academic Unit (School, Faculty, etc.)	○○部		
Position	教授		
Academic Degree	* %		
Effort	* %		
Title of Research Project	(Up to 40 double-byte characters or up to 200 single-byte characters) *		

* The input contents at [Research Expenditures and Their Necessity (Round off fractions less than 1000 yen.)] will be displayed.

FY	FY 2023	FY 2024	Sum Total
Research Expenditure (Thousands of Yen)	0	0	0

29 minutes have been passed since the screen had been displayed.
Save Temporarily

[Firstly related to Basic Section]

	(1)	(2)
Basic Section	*	
* You can not refer to Basic Section(2) from the list. Please enter the number.		
Name of Basic Section		

[Are you classified as a Young Researcher?]

☐ (0) Not applicable.
☐ (1) As of April 1, 2023 Ph.D. acquired less than 8 years
☐ (2) It is planned to acquire Ph.D. by April 1, 2023, although it is not acquired Ph.D.
☐ Date of Ph.D. Acquisition Research institute where applicant is planned to acquire Ph.D.
* Year Month *
☐ (3) As of April 1, 2023 years acquired Ph.D. except period of childcare leave etc less than 8 years
☐ Period taken for Maternity/Childcare Leave1 * Year Month~ Year Month
☐ Period taken for Maternity/Childcare Leave2 * Year Month~ Year Month
☐ Period taken for Maternity/Childcare Leave3 * Year Month~ Year Month
Add

29 minutes have been passed since the screen had been displayed.
Save Temporarily

Request for disclosure *
Phone Number: *
Contact information of the Principal Investigator
Email1: *
Email2:

29 minutes have been passed since the screen had been displayed.
Save Temporarily

Save Temporarily and Go to Next Save Temporarily Save Temporarily and Go Back Go Back Without Save

Logout

応募情報（Web入力項目）画面イメージ（英語版）

【学術変革領域研究（A）（公募研究）－研究計画調書（「研究経費とその必要性」入力画面）】①

JSPS
科研費電子申請システム

Help
Logout

応募者向けメニュー> 研究計画調書作成 (Application Information Input)> 応募情報又は研究計画調書確認> 応募情報又は研究計画調書確認完了

Application Information Input (Research Expenditure and Their Necessity)
English * Japanese

29 minutes have been passed since the screen had been displayed.

Last Saved Date : XXXX.XX.XX XX:XX

< Note >

- Field marked in asterisk (*) is mandatory.
- If the system remains idle for a certain period of time, a session time out may clear any information entered. Click [Save Temporarily] periodically to store changes. In such instance, please read the frequently asked questions on the electronic application system information page.
- If you wish to return to "Management of Research Proposal Document", click the [Save Temporarily and Go Back] button.
- The system may experience problems when multiple windows or tabs are opened. Please avoid an access from multiple windows or tabs.

Save Temporarily and Go to Next
Save Temporarily
Save Temporarily and Go Back
Go Back Without Save

Research Proposal Document for "Grant-in-Aid for Transformative Research Areas (A) (Publicly Offered Research)" (FY 2023)

[Research Expenditure (Round off fractions smaller than 1000 yen)]

In this column, details of research expenditures, their necessity and the basis of their estimation should be given in connection with the "Research Proposal Document (forms to be uploaded)" page. If any of the expenditure categories (equipment costs, travel expenses, or personnel cost/honoraria) exceeds 90% of the total yearly expenditure in any FY of the research period, or if the expenditure in category Consumables expenses or Miscellaneous expenses constitutes a significant portion of the total expenditure, the necessity of that spending should be clarified (by showing the itemized breakdown etc.). In filling this column, please refer to the "Procedures for Preparing and Entering Research Proposal Document (to be entered in the Website)"

Research expenditure and usage breakdowns are automatically calculated from the details of each expenses. Please click on the recalculate button when you have completed inputting details of each expenses.

Details of each research expenditure are sorted and saved in ascending order of fiscal year when temporarily saved.

All details of each research expenditure are shown on the screen by importing a CSV file in a specified format. Select CSV file and click Import CSV File button. This will erase the contents you entered. The CSV file contents will be displayed again, instead.

Download the format of CSV file from [here](#).

Read the Operation Manual on the specification of CSV file import function for more information. Open the page where you can download Operation Manual by clicking Help button at the upper right.

You can print out the displayed details of each research expenditure you have entered in CSV file format. Click Print CSV File button to print your file.

ファイルの選択
ファイルが選択されています

Import CSV File
Print CSV File

FY	Research Expenditure (Thousands of Yen)	Breakdown (Thousands of Yen)				
		Equipment Costs	Consumables Expenses	Travel Expense	Personnel Cost/Honoraria	Miscellaneous Expenses
FY 2023	0	0	0	0	0	0
FY 2024	0	0	0	0	0	0
Sum Total	0	0	0	0	0	0

Recalculation

Amount (Thousands of Yen)

Equipment Costs						
	FY	Item (Specification)	Place of Installation (Institution)	Qty	Unit Price	Amount
Delete	*	*	*	*	*	*
				0	0	0
Delete	*	*	*	*	*	*
				0	0	0
Delete	*	*	*	*	*	*
				0	0	0
Add						
Subtotal						0

Amount (Thousands of Yen)

Consumables Expenses			
	FY	Item	Amount
Delete	*	*	*
			0
Delete	*	*	*
			0
Delete	*	*	*
			0
Add			
Subtotal			0

Necessity of the Equipment Costs, Consumables Expenses	(Up to 500 double-byte characters or up to 1000 single-byte character. Line break is allowed three time only. The line break is zero character on the screen display but it is counted as a two byte character per one command. Be sure to input about the necessity etc. on the above.)
	Number of characters entered : 0

29 minutes have been passed since the screen had been displayed.

Save Temporarily

応募情報（Web入力項目）画面イメージ（英語版）

【学術変革領域研究（A）公募研究－研究計画調書（「研究経費とその必要性」入力画面）】 ②

[Details of Travel Expenses, Personnel Cost / Honoraria, and Miscellaneous Expenses (Round off fractions smaller than 1000 yen.)]

Recalculation

Amount (Thousands of Yen)

Domestic Travel Expense			
	FY	Item	Amount
Delete	*	*	*
	▼		0
Delete	*	*	*
	▼		0
Delete	*	*	*
	▼		0
Add			
Subtotal			0

Amount (Thousands of Yen)

Overseas Travel Expense			
	FY	Item	Amount
Delete	*	*	*
	▼		0
Delete	*	*	*
	▼		0
Delete	*	*	*
	▼		0
Add			
Subtotal			0

Recalculation

Amount (Thousands of Yen)

Personnel Cost/Honoraria			
	FY	Item	Amount
Delete	*	*	*
	▼		0
Delete	*	*	*
	▼		0
Delete	*	*	*
	▼		0
Add			
Subtotal			0

Amount (Thousands of Yen)

Miscellaneous Expenses			
	FY	Item	Amount
Delete	*	*	*
	▼		0
Delete	*	*	*
	▼		0
Delete	*	*	*
	▼		0
Add			
Subtotal			0

Necessity of the Travel Expense, Personnel Cost/Honoraria, Miscellaneous Expenses

(Up to 500 double-byte characters or up to 1000 single-byte character. Line break is allowed three time only. The line break is zero character on the screen display but it is counted as a two byte character per one command. Be sure to input about the necessity etc. on the above.)

Number of characters entered : 0

29 minutes have been passed since the screen had been displayed.

Save Temporarily

Save Temporarily and Go to Next Save Temporarily Save Temporarily and Go Back Go Back Without Save

Logout

応募情報（Web入力項目）画面イメージ（英語版）

【学術変革領域研究（A）公募研究－研究計画調書（「研究費の応募・受入等の状況」入力画面）】

JSPS
科研費電子申請システム
Help
Logout

応募者向けメニュー> 研究計画調書作成 (Application Information Input)> 応募情報又は研究計画調書確認> 応募情報又は研究計画調書確認完了

Application Information Input (The Status of Application and Acquisition of Research Grants)
English > Japanese
29 minutes have been passed since the screen had been displayed.
Last Saved Date : XXXX.XX.XX XX:XX

<Note>

- Field marked with asterisk (*) is mandatory.
- If the system remains idle for a certain period of time, a session time out may clear any information entered. Click [Save Temporarily] periodically to store changes. In such instance, please read the frequently asked questions on the electronic application system information page.
- If you wish to return to "Management of Research Proposal Document", click the [Save Temporarily and Go Back] button.
- The system may experience problems when multiple windows or tabs are opened. Please avoid an access from multiple windows or tabs.

Save Temporarily and Go to Next
Save Temporarily
Save Temporarily and Go Back
Go Back Without Save

Research Proposal Document for "Grant-in-Aid for Transformative Research Areas (A) (Publicly Offered Research)" (FY 2023)

[The Status of Application and Acquisition of Research Grants]

* Click "Add" on the left-hand side of the window to insert additional research project fields. Click "Delete" on the left-hand side of each field to delete unused fields. (If any field is not used or no longer required)

Note: PI:Principal Investigator, Co-I(s): Co-Investigator(s)

The entries in this column will be referred to in order to ensure that the grant status would not constitute a case of "unreasonable duplication and/or excessive concentration in the grant allocation" so that the proposed research project can be duly carried out in parallel with other projects. Therefore, it is strictly required that all the relevant information on research grants be correctly entered. List, at the time of submission of this KAKENHI application, (1) research grant application(s) in the review process and (2) research grant(s) adopted and to be delivered of Principal Investigator. Refer to the "Procedures for Preparing and Entering Research Proposal Document (to be entered in the Website)" for the specific entry method of this form.

- In the "Effort" column, enter the percentage of hours allocated to each research project, with the total yearly working hours set at 100%.
- If the applicant has acquired competitive research grants within his/her research institution, they should be also listed.

Name of the Researcher
代表 一郎

(1) Research Grant Application(s) in the Review Process

Role in This Project	1. Funding System/Research Grant Name (Funding Agency Name) 2. Research Period 3. Title of the Research Project 4. Name of the Principal Investigator	Research Expenditure for FY 2023 (throughout the period) (Unit : thousand yen)	FY 2023 Effort (%)	Distinction of the Research Contents and Reason for Submission of This KAKENHI Application in Addition to the Other Projects, and Other Relevant Information (Affiliated institution and title/position in submitting the application for the project shown left) (For a KAKENHI grant as Principal Investigator, enter the total research expenditure for the whole research period.)
代表(PI)	1. [this KAKENHI application]学術変革領域研究（A）（公募研究） 2. FY 2023～FY 2024 3. ○○○○○○○○○○ 4.	9,999,999 (9,999,999)	XX%	Sum Total 9,999,999 Thousand Yen
Delete	1. * Please select "Role" at first 2. FY * ~ FY * 3. * 4. (Family Name) * (First Name)		%	Sum Total * Thousand Yen
Add				

(2) Research Grant(s) Adopted and to be Delivered

Role in This Project	1. Funding System/Research Grant Name (Funding Agency Name) 2. Research Period 3. Title of the Research Project 4. Name of the Principal Investigator	Research Expenditure for FY 2023 (throughout the period) (Unit : thousand yen)	FY 2023 Effort (%)	Distinction of the Research Contents and Reason for Submission of This KAKENHI Application in Addition to the Other Projects, and Other Relevant Information (Affiliated institution and title/position in accepting the project shown left) (For a KAKENHI grant as Principal Investigator, enter the total research expenditure for the whole research period.)
Delete	1. * Please select "Role" at first 2. FY * ~ FY * 3. * 4. (Family Name) * (First Name)		%	Sum Total * Thousand Yen
Delete	1. * Please select "Role" at first 2. FY * ~ FY * 3. * 4. (Family Name) * (First Name)		%	Sum Total * Thousand Yen
Add				

(3) Other Activities
Total of the Effort in (1), (2) and (3) Above

Save Temporarily and Go to Next
Save Temporarily
Save Temporarily and Go Back
Go Back Without Save
Logout

33

新学術領域研究（終了研究領域）

【研究計画調書】

令和5(2023)年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 研究計画調書（計画研究）作成・記入要領（終了研究領域）

研究計画調書は、科研費の交付を申請しようとする者が、公募要領に基づいて、あらかじめ当該研究計画に関する内容を記入し、文部科学大臣宛て提出するものであり、**科学技術・学術審議会における審査資料となるものである。**

については、下記の点に留意した上で、誤りのないように作成すること。

なお、科学技術・学術審議会における審査の結果、採択された場合には、交付内定の通知が行われ、この通知に基づき交付申請書を提出し、研究計画等が適正と認められた場合に科研費が交付されることになる。

記

- ・この作成・記入要領は、「新学術領域研究（研究領域提案型）」の「終了研究領域」の研究計画調書を作成するための要領である。
- ・研究成果を取りまとめるための研究計画及び研究成果の取りまとめに必要な経費を記載すること。
なお、「終了研究領域」の研究計画においては、研究活動を行うことはできない。
- ・研究計画調書は、「Ⅰ 応募情報（Web入力項目）」、「Ⅱ 研究計画調書【様式S-9】（添付ファイル項目）」から構成される。
- ・研究計画調書の作成に当たっては、公募要領に基づいて、研究代表者が責任を持って作成すること。
- ・審査においては多数の応募研究課題が審査に付されることを考慮し、本文は11ポイント以上（英語の場合は10ポイント以上）の大きさの文字等を使用すること。
- ・各項目のタイトルが必ず頁の先頭に来るようにすること。また、各項目で定められた頁数を超えないこと。
- ・様式上の留意事項については削除すること。また、それ以外の指示書き及び囲み枠は削除しないこと。
- ・英語で記入された研究計画調書も受け付ける。
- ・研究計画調書の提出後は、差替え等を認めないため、提出前に、PDFファイルに変換された研究計画調書の内容に不備（文字や図表の欠落、文字化け等）がないか、必ず確認すること。

I 応募情報（Web入力項目）

以下の項目は、「研究計画調書」の「応募情報（Web入力項目）」であり、作成に当たっては、研究代表者が所属する研究機関から付与された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」のID・パスワードにより科研費電子申請システム（以下「電子申請システム」という。）にアクセスして直接入力を行うこと。

応募情報（Web入力項目）は、「電子申請システム」によって作成される研究計画調書（PDFファイル）の前半部分（「研究代表者氏名」「最も関連の深い小区分」等）及び後半部分（「研究経費とその必要性」）で構成される。

応募情報（Web入力項目）に係る作成・入力要領は、「令和5(2023)年度新学術領域研究（研究領域提案型）研究計画調書 応募情報（Web入力項目）作成・入力要領（終了研究領域）」（49頁）を参照すること。

○Web入力項目「前半部」

「研究課題情報」

1. 研究区分
2. 研究課題番号
3. 研究領域
4. 研究項目番号
5. 研究代表者氏名
6. 研究代表者所属研究機関・部局・職
7. 研究課題名
8. 研究経費
9. 最も関連の深い小区分
10. 開示希望の有無
11. 研究代表者連絡先
12. 研究組織

○Web入力項目「後半部」

「研究経費とその必要性」

Ⅱ 研究計画調書【様式S－9】（添付ファイル項目）

以下の項目は、「研究計画調書（添付ファイル項目）」の内容であり、研究計画調書（PDFファイル）の中間部分に当たる。

研究代表者は、「研究計画調書（添付ファイル項目）」について、文部科学省の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものを、「電子申請システム」にアクセスして添付すること（5MB以上のファイルは添付不可）。

作成に当たっては、下記の指示及びそれぞれの欄の指示に従うこと。また、様式の余白は、上 20 mm、下 20 mm、左 20 mm、右 20 mmで設定しており、余白の設定を変更すると、審査資料を作成する際、文字等の欠落等のおそれがあるので、設定を変更しないこと。

なお、当該研究領域の研究成果の取りまとめの計画を公募の対象としており、研究活動を実施する研究計画は公募の対象としていないため、注意すること。

- (1) 「計画概要」「研究成果取りまとめの目的」「令和4(2022)年度までの研究経過」「令和4(2022)年度までの研究の評価」「人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄には、それぞれの研究計画調書に記載している指示に従って記述すること。

(2) 「令和5(2023)年度の研究成果取りまとめの計画・方法」欄

研究計画調書に記載している指示に従って記述すること。なお、科研費は国民から徴収された税金等で賄われるものであるため、研究者は、その研究成果を社会・国民にできるだけ分かりやすく説明することが求められている。このため、研究成果を社会・国民に発信する方法（例えば、ホームページの作成、研究成果広報用パンフレットの作成、公開行事等への参加、マスメディアへの発表予定）等についても記述すること（公募要領7～9頁参照）。

(3) 「研究成果の発表状況」欄

研究計画調書に記載している指示に従って記述すること。なお、研究成果の社会・国民への発信状況の記述に当たっては、公募要領7～9頁を参照すること。

令和5(2023)年度 新学術領域研究（研究領域提案型）（終了研究領域）研究計画調書

令和XX年XX月XX日
X 版

研究区分	終了研究領域	機関・領域・研究 項目・整理番号	00000-0000-000-0000				
研究課題番号	00000000						
研究領域	領域番号	領域略称名					
研究項目番号							
研究代表者 氏名	(フリガナ)						
	(漢字等)						
所属研究機関							
部 局							
職							
研究課題名							
研 究 経 費 〔千円未満の 増数は切り 捨てる〕	年度	研究経費 (千円)	使用内訳 (千円)				
			設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
	令和5年度						
	令和6年度						
	総計						
最も関連の 深い小区分		(1)			(2)		
	小区分						
	小区分名						
開示希望の有無							
研究代表者 連絡先	〒 (住所)						
	電話番号：			Fax番号：			
	Email：						

研究組織（研究代表者及び研究分担者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職	学位 役割分担	令和5年度 研究経費 （千円）	エフ ォ ー ト （%）
研究代表者	00000000（00）				
合計	00 名		研究経費合計		

計画概要

（1）研究成果取りまとめの目的等

新学術（終了）－ 2（研究成果取りまとめの目的）、3（令和 4（2022）年度までの研究経過）、4（令和 4（2022）年度までの研究の評価）の内容を簡潔にまとめて記述すること。

（1/2 頁程度。「令和 5（2023）年度の研究結果取りまとめの計画・方法」と合わせて 1 頁以内）

（2）令和 5（2023）年度の研究結果取りまとめの計画・方法

新学術（終了）－ 5（令和 5（2023）年度の研究結果取りまとめの計画・方法）の内容を簡潔にまとめて記述すること。

（1/2 頁程度。「研究成果取りまとめの目的等」と合わせて 1 頁以内）

研究成果取りまとめの目的

本欄には、研究成果取りまとめの全体構想及び目的について具体的かつ明確に記述すること。

令和 4 (2022) 年度までの研究経過

研究の進展状況、新たに得られた知見を記述すること。

令和 4 (2022) 年度までの研究の評価

本欄には、当初に計画した研究目的、研究計画・方法に対する達成度について、次の点に焦点を絞り記述すること。

- ① 研究遂行上で生じた問題点等
- ② 過去に受けた中間評価の所見及びその対応状況等

令和 5 (2023) 年度の研究成果取りまとめの計画・方法

本欄には、令和 5 (2023) 年度の研究成果取りまとめの計画・方法について、具体的かつ明確に記述すること。ここでは、当初計画どおりに進まないときの対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、計画を遂行するための体制について、研究分担者とともに行う計画である場合は、研究代表者及び研究分担者の具体的な役割（図表を用いる等）、学術的観点からの研究組織の必要性・妥当性及び研究目的との関連性についても記述すること。

また、体制の全体像を明らかにするため、研究協力者（海外共同研究者、科研費への応募資格を有しない企業の研究者、その他技術者や知財専門家等の研究支援を行う者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可））の役割についても記述すること。

さらに、本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等についても記述すること。

研究成果の発表状況

この研究領域の成果に関して、学術誌等に発表した論文（著者名、論文名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年）、学会等における発表状況及び社会・国民への発信状況について、主なものを記述すること。なお、どの著者が研究領域に参画しているのか分かるように、研究代表者には二重下線を、研究分担者には一重下線を付すこと。また、corresponding author には左に＊印を付けること。

人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領 4 頁参照）

本欄には、本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を 1 頁以内で記述すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

該当しない場合には、その旨記述すること。

47

[illegible]

消耗品費、旅費、人件費・謝金、その他の必要性

令和 5 (2023) 年度 新学術領域研究 応募情報 (Web 入力項目) 作成・入力要領 (終了研究領域)

応募内容の確認及び審査資料の作成は、応募書類のうち、研究計画調書「応募情報 (Web 入力項目)」に基づいて行うため、応募情報 (Web 入力項目) の入力内容によっては当該応募研究課題が審査に付されないことや審査の結果に影響を及ぼすことがある。作成に当たっては十分注意すること。

なお、入力内容の一部 (課題名・組織情報・エフォート等) は、e-Rad に提供する。

「応募情報入力」画面において、左上の「Japanese ▶ English」ボタンをクリックすると英語表記の入力画面に変わる。

記

はじめに

領域選択画面から、「成果取りまとめ」(領域番号「9999」、研究項目番号「X00」) の登録ボタンをクリックすること。

1. 研究区分

「終了研究領域」が表示されていることを確認すること。

2. 研究課題番号

終了研究領域の総括班の研究課題番号を必ず入力すること。

3. 研究領域

「9999」が表示されていることを確認すること。

4. 研究項目番号

「X00」が表示されていることを確認すること。

5. 研究代表者氏名

e-Rad に登録されている研究代表者の情報が自動表示される。氏名が正しく表示されていることを確認すること。誤りがある場合は、入力データを一時保存した上で所属研究機関の事務局に連絡し、その指示に従うこと。

6. 研究代表者所属研究機関・部局・職

e-Rad に登録されている研究代表者の情報が自動表示されます。研究計画調書作成時点での所属情報が正しく表示されていることを確認すること。誤りがある場合は、入力データを一時保存した上で所属研究機関の事務局に連絡し、その指示に従うこと。

7. 研究課題名

終了研究領域の総括班の研究課題名を入力すること。

8. 研究経費

研究計画に基づき、年度別・使用内識別に入力された【研究経費とその必要性 (千円未満切り捨て)】に入力された内容が表示される。令和 5 (2023) 年度のみの使用内識別の応募研究経費を入力すること。

9. 最も関連の深い小区分

電子申請システム上の「一覧」に表示される「科学研究費助成事業「審査区分表」」から、当該応募研究課題の研究内容に最も関連が深いと思われる小区分を関連が深い順に二つまで選定し入力すること (最低一つは選定すること)。

10. 開示希望の有無

この欄の選択は不要。

1 1. 研究代表者連絡先

研究代表者と直接連絡が必要な場合に備え情報を入力すること（例えば、勤務先住所は、本部所在地ではなく研究代表者が実際に勤務するキャンパスの所在地を入力すること。）。

1 2. 研究組織

新学術領域研究の終了研究領域については、必要に応じ「研究分担者」、「研究協力者」を研究に参画させることができる。「研究代表者」、「研究分担者」、「研究協力者」の定義は、公募要領 70～72 頁を参照すること。

また、「研究組織」は、次のことに留意して入力すること。

(1) 研究組織（研究代表者）の入力

- ・「区分」欄は「研究代表者」と自動表示される。
 - ・「研究者番号」、「氏名（フリガナ・漢字等）」、「年齢（令和 5 (2023) 年 4 月 1 日現在）」、「所属研究機関・部局・職」は、e-Rad に登録されている研究代表者の情報が自動表示される。情報が正しく表示されていることを確認すること。
 - ・「学位」欄は研究代表者が自身で入力すること。入力するのは最終学歴のみで構わない。
 - ・「役割分担」欄には、令和 5 (2023) 年度の研究実施計画に対する分担事項を中心に、研究代表者、研究分担者がどのように協力して研究を行うのか、それぞれの関連が分かるように研究代表者が研究分担者の分も含めて入力すること。
 - ・「2023 年度研究経費」欄は、研究計画に基づき、研究代表者及び研究分担者への配分額を千円単位で、研究代表者が研究分担者の配分額も含めて入力すること。
- 各研究者への配分額の合計金額が画面に表示されている「2023 年度の研究経費（千円）」の金額と一致することを確認すること。一致しない場合は、入力後の確認画面においてエラーが表示される。
- ・「エフォート」欄は、本応募研究課題が採択された場合を想定した時間の配分率（1～100 の整数）を入力すること。

時間の配分率の決定に当たっては、総合科学技術会議におけるエフォートの定義である「研究者の年間の全仕事時間を 100 % とした場合、そのうち、当該研究の実施に必要となる時間の配分率（%）」という考え方で決定すること。なお、「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指す。

また、本応募研究課題が採択された際には、改めて、その時点におけるエフォートを確認し、エフォートに変更がある場合には、e-Rad 上で修正した上で交付申請手続きを行うこととなる。

(2) 研究組織（研究分担者）の入力

- ・研究組織（研究分担者）の入力欄は入力画面左側の「追加」ボタンを人数分押すことでデータ入力欄が表示される。
- 使用しないデータ入力欄（入力したが使用しない場合や全く入力しなかった場合）については、左側の「削除」ボタンを押してデータ入力欄を削除すること。
- 画面最下部に表示される「研究組織人数」欄は、データ入力欄の数により自動表示される。「研究組織人数」欄の数字と実際に入力したデータの合計人数が合わない場合は、入力後の確認画面においてエラーが表示されるので、入力しなかったデータ入力欄は必ず削除すること。
- ・「区分」欄は「研究分担者」と自動表示される。
 - ・研究分担者の「氏名（フリガナ・漢字等）」、「年齢（令和 5 (2023) 年 4 月 1 日現在）」「所属研究機関・部局・職」は、研究者番号を入力し、「検索」ボタンをクリックすると、当該研究分担者の情報が表示されるので「OK」ボタンをクリックすること。
- なお、当該研究分担者が複数の研究機関に所属していることがあるため、どの研究機

関の所属として応募とするか、事前に必ず研究分担者に確認をすること。

- ・「学位」欄、「エフォート」欄は、研究分担者が研究分担者の承諾手続きの過程で入力した内容が表示される。
- ・「役割分担」欄、「2023 年度研究経費」欄は研究代表者が入力すること（記載方法は「(1) 研究組織（研究代表者）の入力欄」を参照すること。）。

【研究分担者の承諾手続きについて】

- ・研究分担者を研究組織に加える場合、科研費電子申請システム（以下「電子申請システム」という。）により研究分担者及び研究分担者が所属する研究機関から承諾等を得ることが必要である。
- ・研究者に研究分担者となることを依頼する場合、電子申請システム上で「承諾状況」欄の「依頼する」にチェックを入れ、一時保存をすることで登録した研究者に研究分担者になることが依頼される（併せて、研究分担者になることを依頼した研究者に、必ず依頼した旨を連絡すること。）。
- ・研究分担者及び研究分担者が所属する研究機関が承諾等を行うと、「承諾状況」欄が「分担者承諾」「機関承諾」に変わる。
- ・「承諾状況」欄が「分担者不承諾」又は「機関不承諾」の場合には、当該研究者を研究分担者とすることはできない。当該欄の「削除」ボタンを押してデータ入力欄を削除すること。
- ・なお、研究分担者となることを依頼する場合には、**必ず以下の内容を当該研究者に確認し承諾が得られることを踏まえた上で、依頼**をすること。
 - ① 当該研究について、研究計画の遂行に関して研究代表者と協力しつつ、補助事業者として研究遂行責任を分担して研究活動を行う研究分担者となること
 - ② 科研費の補助条件（交付条件）及び以下の(a)(b)(c)を理解し、遵守するとともに研究代表者から分担金の配分を受け科研費を適正に使用すること
 - (a) 学術研究に対する国民の負託及び科研費が国民の貴重な税金で賄われていることを十分認識し、科研費を適正かつ効率的に使用するとともに、研究において不正行為を行わないこと
 - (b) 当該研究課題の交付申請前まで（交付決定後においては、研究代表者が日本学術振興会に研究分担者の変更承認申請を行う前まで）に研究倫理教育教材（『科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－』日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会、研究倫理 e ラーニングコース（e-Learning Course on Research Ethics [eL CoRE]）、APRIN e ラーニングプログラム(eAPRIN)等）の通読・履修をすること、又は、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（平成26年8月26日 文部科学大臣決定）を踏まえ研究機関が実施する研究倫理教育の受講をすること
 - (c) 当該研究課題の交付申請前まで（交付決定後においては、研究代表者が日本学術振興会に研究分担者の変更承認申請を行う前まで）に日本学術会議の声明「科学者の行動規範－改訂版－」や、日本学術振興会「科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－」の内容のうち、研究者が研究遂行上配慮すべき事項について、十分内容を理解し確認すること

※研究分担者の承諾手続きに当たっての動作環境、操作方法などの詳細は、電子申請システムの「操作手引」を参照すること。

(URL:https://www-shinsei.jpsps.go.jp/kaken/topkakenhi/shinsei_ka.html)

- (3) 研究分担者以外の共同研究者は「研究協力者」となる。研究協力者については、当該研究課題の研究組織に入力しないこと。研究計画調書内で研究協力者に言及する場合には、「研究計画・方法」欄等、全体の研究計画を説明する中で必要に応じて記載すること。

13. 研究経費とその必要性

研究計画に基づき、令和5(2023)年度のみ使用内訳別の応募研究経費を入力すること。その際、以下に記載している「対象となる経費（直接経費）」及び「対象とならない経費」に留意すること。また、研究経費の額が10万円未満の研究計画は公募の対象とならないので、注意すること。

「対象となる経費（直接経費）」

当該研究領域の研究成果の取りまとめに必要な経費を対象とします。

(例) 当該研究領域の研究成果を取りまとめるため、

- ・資料整理に要する経費
- ・報告会、総括班会議等を開催するための経費
- ・研究成果報告書を作成するための経費 等

当該研究領域の研究成果について、

- ・データベースを構築し広く一般に公開するための経費
- ・公開シンポジウム等を開催するための経費 等

その他、研究成果を取りまとめるために必要となる経費

「対象とならない経費」

次の経費は対象となりません。

- ① 建物等の施設に関する経費（直接経費により購入した物品を導入することにより必要となる据付等のための経費を除く）
- ② 補助事業遂行中に発生した事故・災害の処理のための経費
- ③ 研究代表者又は研究分担者の人件費・謝金
- ④ 研究を実施するための経費
- ⑤ その他、間接経費（注）を使用することが適切な経費

注）研究計画の実施に伴う研究機関の管理等に必要な経費（直接経費の30%に相当する額）であり、研究機関が使用するものです。

今回、公募を行う研究種目には間接経費が措置される予定ですが、研究代表者は、間接経費を応募書類に記載しないでください。

研究経費と使用内訳は、各経費の明細の入力内容から自動で計算される。各経費の明細欄は、入力画面左側の「追加」ボタンを必要数押すことでデータ入力欄が表示される。使用しないデータ入力欄（入力したが使用しない場合や全く入力しなかった場合）については、左側の「削除」ボタンを押してデータ入力欄を削除すること。金額は、千円単位で入力し、千円未満の端数は切り捨てること。各経費の明細の入力が全て完了したら、再計算ボタンをクリックすること。なお、各2頁が上限となる。

各経費の明細の入力に当たっては、以下の点に留意すること。ただし、以下の例に限らず、各事項をどの費目とするかについては、所属研究機関の会計規程等にのっとり入力すること。

※いずれの費目も「終了研究領域」の研究成果を取りまとめるための経費に限る。

○設備備品費

多数の図書、資料を購入する場合は、例えば「西洋中世政治史関係図書」のように、ある程度、図書、資料の内容が判明するような表現で入力すること（図書について、設備備品として取り扱わない場合についても、同様に記入すること。）。また、機械器具の場合は、単に〇〇〇一式とするだけでなく、その内訳も入力すること。

○消耗品費

コピー用紙、ソフトウェア等その品名ごとに記入すること。

○設備備品費、消耗品費の必要性

入力した設備備品費及び消耗品費の必要性・積算根拠について入力すること。なお、「設備備品費」が全体の研究経費の90%を超える場合及び「消耗品費」で特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の研究遂行上の必要性についても入力すること。また、一つの設備備品を研究費の合算使用で購入する場合などには、本応

募研究課題で使用する額を単価の欄に入力し、合算使用である旨をこの欄に入力すること。

○国内旅費・外国旅費

研究代表者、研究分担者及び研究協力者の海外・国内出張（資料収集、研究の打合せ、研究の成果発表等）のための経費（交通費、宿泊費、日当）等を、その事項ごとに入力すること。

○人件費・謝金

資料整理、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アンケートの配付・回収、研究資料の収集等を行う研究協力者（ポストドクター・リサーチアシスタント（R A）・外国の機関に所属する研究者等）に係る謝金、報酬、賃金、給与、労働者派遣業者への支払いのための経費等を、その事項ごとに入力すること。また、人件費・謝金の支出を予定している者の協力時の身分等（特任助教、博士研究員、博士後期課程学生、博士前期課程学生 等）が明らかである場合にはその点も記載すること。（例：資料整理（内訳：博士後期課程学生○人×○月）・△△△千円、公募要領 9 2 頁参照）

○その他

設備備品費、消耗品費、旅費、人件費・謝金のほか当該研究を遂行するための経費（例：印刷費、複写費、現像・焼付費、通信費（切手、電話等）、運搬費、会議費（会場借料、食事（アルコール類を除く）費用等）、リース・レンタル費用（コンピュータ、自動車等）、旅費以外の交通費、研究成果発表費用（学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成果広報用パンフレット作成費用、一般市民を対象とした研究成果広報活動費用等）、実験廃棄物処理費、研究代表者・分担者の研究以外の業務の代行に係る経費（パイアウト経費、公募要領 7 2 頁参照））等を、その事項ごとに入力すること。

○旅費、人件費・謝金、その他の必要性

入力した旅費、人件費・謝金及びその他の必要性・積算根拠について入力すること。
「旅費」又は「人件費・謝金」のいずれかの費目が全体の研究経費の 9 0 % を超える場合及び「その他」で特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の研究遂行上の必要性についても入力すること。

応募情報（領域選択）画面イメージ
【新学術領域研究（研究領域提案型）（継続領域・終了研究領域）】

JSPS

科研費電子申請システム

ヘルプ
Help

ログアウト
Log out

応募者向けメニュー(Menu for Applicant)>研究計画調書作成(受付中研究種目一覧(Create Research Proposal Document(List of Research Categories Accepting Applications))>応募情報入力(Enter Application Information)>応募情報又は研究計画調書確認(Application Information or Research Proposal Document Check)>応募情報又は研究計画調書確認完了(Application Information or Research Proposal Document Confirmed))

応募情報入力(領域選択)

Enter Application Information (Select Area)

ヘルプ
 ログアウト

・ 応募する研究領域・研究項目番号・各年度の上限金額を選択し、該当の[登録]ボタンをクリックして進んでください。

Select your application's research area, number of research group, and upper limit of research expenditure and click the relevant [Register] button.

「公募研究」に係る研究課題の応募書類を提出する時期に当たる研究領域

Research area exactly in the period for submitting application documents of a project regarding Publicly Offered Research.

領域番号 Number of Research Area	領域略称名 Abbreviated Title of Research Area	研究項目番号 Number of Research Group	各年度の上限金額 Upper Limit of Research Expenditure	登録 Registration
1234	○○○○○○○○○ (abodefg xxxxx xxxxxxxx)	A01	500万円	
			300万円	
		A02	500万円	
			300万円	
		A03	500万円	
			300万円	
2234	XXXX (xxxxxx xxxxxxxx)	A01	400万円	
			200万円	
			100万円	
		A02	400万円	
			200万円	
			100万円	
		A03	400万円	
			200万円	
			100万円	
		A04	400万円	
			200万円	
			100万円	
2456	XXXXXXX (xxxxxx xxxxxxxx)	A01	500万円	
2789	XXXXXXXXXX (xxxxxx xxxxxxxx)	A01	500万円	
3234	△△△△△△ (xxxxxx xxxxxxxx)	A01	500万円	

「終了研究領域」に係る研究課題の応募書類を提出する時期に当たる研究領域

Research area exactly in the period for submitting application documents of a project regarding Finished Research Area.

領域番号 Number of Research Area	領域略称名 Abbreviated Title of Research Area	研究項目番号 Number of Research Group	上限金額 Upper Limit of Budget	登録 Registration
9999	成果とりまとめ (xxxxxx xxxxxxxx)	X00	300万円	

キャンセル
Cancel

ログアウト
Log out

54

応募情報（Web入力項目）画面イメージ（終了研究領域）
 【新学術領域研究（研究領域提案型）－研究計画調書（「研究計画調書管理」画面）】

JSPS
科研費電子申請システム

ヘルプ Help

ログアウト Log out

応募者向けメニュー(Menu for Applicant)> 研究計画調書管理(Management of Research Proposal Document)

研究計画調書管理
 Management of Research Proposal Document

研究種目名 Research Category	提出先機関名 Name of Submission Destination Institution	研究課題名 Title of Research Project	作成日 Date of Creation
令和X(20XX)年度 新学術領域研究(研究領域提案型)(継続の研究領域・終了研究領域)	ABCDE大学	〇〇〇における×××の研究	XXXX年XX月X日

<注意事項>

- 研究計画調書は以下の応募情報を入力して作成します。
- 「研究費の応募・受入等の状況」は、終了研究領域に応募する場合は作成する必要がありません。
 応募情報入力(領域選択)画面で「終了研究領域」を選択して保存した場合、応募情報入力のボタンが表示されなくなります。

< Note >

- By entering the following application information, Research Proposal Document will be created.

応募情報 Application Information	処理状況 Processing Status	応募情報入力 Application Information Input
研究課題情報 Research project information	作成済 Created 分担者承諾完了 Consent from the Co-Investigator has been obtained.	修正 Modify
研究経費とその必要性 Research Expenditure and Their Necessity	作成中 Creating	再開 Restart
研究費の応募・受入等の状況 The Status of Application and Acquisition of Research Grants	作成対象外 Not subject to create	

<注意事項>

- 添付ファイル項目を全て登録することで、PDFを作成することができます。
- 添付ファイル項目以外の項目が未入力の状態でも、「提出確認用」の透かしの入ったPDFを作成することができます。
- 添付ファイル項目についてはWordファイルの代わりにPDFファイルを選択することも可能です。(PDFファイルは添付ファイル項目様式(Word又は本会並びに文部科学省が提供する様式)を基に作成したものに限りします。)
- 添付ファイル項目の頁総数に不足がある場合は、PDF変換時にエラーとなります。
- 添付ファイル項目様式の余白設定を変更すると、エラーとなる場合がありますので、余白設定は変更しないでください。

< Note >

- You can create a PDF file after you finish registering all forms to be uploaded.
- You can create a PDF watermarked as 「提出確認用」(for pre-submission revision) before you enter items other than the items in forms to be uploaded.
- A PDF file can be used instead of a Word file for the forms to be uploaded. (A PDF file must be created using the forms to be uploaded in accordance with the Word file or the format provided by the JSPS or the MEXT)
- If there is a shortage in the total number of pages of the forms to be uploaded, an error will occur during PDF conversion.
- Do not change the margin setting of the forms to be uploaded. Doing so may cause errors.

添付ファイル項目 Forms to be Uploaded	ファイル登録/登録済みファイルダウンロード File Registration / Registered File Download
S-9 参照...	登録 Register

次へ進む
Next

戻る
Return

ログアウト
Log out

応募情報（Web入力項目）画面イメージ（終了研究領域）
【新学術領域研究（研究領域提案型）－研究計画調書】①

JSPS

科研費電子申請システム

ヘルプ

ログアウト

応募者向けメニュー

> 研究計画調書作成（応募情報入力）

> 応募情報又は研究計画調書確認

> 応募情報又は研究計画調書確認完了

応募情報入力

Japanese > English

画面を表示してから29分経過

最終保存日時：XXXX年XX月XX日 XX時XX分

<注意事項>

- *のついた項目は必須項目です。
- 入力中に、一定時間、ボタン操作をせずにおくと、セッションタイムアウトにより、入力した情報が保存されない場合があります。随時[一時保存]ボタンをクリックして情報を保存して下さい。もし、セッションタイムアウトのエラーメッセージが出た場合は、「電子申請のご案内」ページの「よくあるご質問」をご参照下さい。
- 「研究計画調書管理」に戻る場合は、[一時保存をして戻る]ボタンをクリックしてください。
- 複数ウィンドウ（複数タブ）を開いて利用すると、システムが正常に動作しない場合があります。複数ウィンドウでのご利用は控えてください。

一時保存をして次へ進む

一時保存

一時保存をして戻る

保存せずに戻る

令和5(2023)年度 新学術領域研究（研究領域提案型）（継続の研究領域・終了研究領域）

研究計画調書

研究区分	終了研究領域		
研究課題番号	*		
研究領域 一覧	領域番号	領域略称名	
	9999	成果とりまとめ	
研究項目番号	X00		
各年度の上限金額	3000（千円）		

領域選択に戻る

研究代表者氏名	(フリガナ) タイヒョウ イチロウ		
	(漢字等) 代表 一郎		
所属研究機関	(番号) 99999 AAA大学		
部局	〇〇部		
職	教授		
研究課題名	(40字以内。英文（半角）の場合は200字以内。)		
	*		

※【研究経費とその必要性（千円未満の端数は切り捨てる）】で入力した内容が表示されます。

年度	2023年度	2024年度	総計
研究経費（千円）	0	0	0

画面を表示してから29分経過

一時保存

【最も関連の深い小区分】

	(1)	(2)
小区分 一覧	*	
	※小区分(2)については、一覧から参照できません。番号を入力してください。	
小区分名		

開示希望の有無	*
研究代表者連絡先	〒* (住所) * 電話番号：* FAX番号：* Email：*

画面を表示してから29分経過

一時保存

56

応募情報（Web入力項目）画面イメージ（終了研究領域）
【新学術領域研究（研究領域提案型）－研究計画調書】②

【研究組織（研究代表者及び研究分担者）】

- ・ [追加]ボタンをクリックして研究分担者を登録してください。
- ・ 研究組織の入力欄は、入力画面左側の[追加]ボタンを必要な回数押すことでデータ入力枠が設定されます。使用しない欄（入力したくない場合や全く入力しなかった場合）については、当該欄の左側の[削除]ボタンを押してデータ入力枠を削除してください。
- ・ 研究分担者の研究者番号を入力し、[検索]ボタンをクリックすると、当該研究分担者の情報が表示されるので[OK]ボタンをクリックしてください。なお、当該研究分担者が複数の研究機関に所属していることがありますので、どの研究機関の所属として応募とするか、事前に必ず研究分担者に確認をしてください。
- ・ 研究分担者を研究組織に加える場合、電子申請システムにより研究分担者及び研究分担者が所属する研究機関からの承諾が必要です。
- ・ 研究分担者の承諾状況の「依頼する」にチェックを入れ一時保存した場合、登録した研究者へ研究分担者になることを依頼します。依頼を依頼する場合はチェックを入れてください。（合わせて、必ず研究分担者に依頼をした旨を連絡してください。）
- ・ 研究分担者が依頼を承諾すると研究分担者の承諾状況に「差し戻し」が表示されます。研究分担者の承諾状況の「差し戻し」にチェックを入れ一時保存した場合、承諾状況が分擔者未確認に戻り、再度研究分担者がエフォート等の情報を修正できるようになります。研究分担者の登録内容を修正したい場合はチェックを入れてください。（必ず研究分担者に差し戻しをした旨を連絡してください。）
- ・ 研究分担者の所属情報を変更したい場合は、研究分担者の研究者番号の[検索]ボタンをクリックし、表示された当該研究分担者の情報を確認の上[OK]ボタンをクリックしてください。研究分担者の所属情報を変更した場合は、承諾状況が「依頼する」となり、もう一度研究分担者承諾の手続きの必要がありますので、ご注意ください。
- ・ 研究分担者(研究分担者の所属機関含む)の承諾の有無にかかわらず[削除]ボタンを押してデータ入力枠を削除することができます。[削除]後に再度同じ研究者へ研究分担者を依頼する場合は、もう一度同じ手続きの必要がありますので、ご注意ください。
- ・ 承諾状況が「分擔者未承諾」または「機関未承諾」の研究者は、研究分担者として研究組織に登録することができません。当該欄の左側の[削除]ボタンを押してデータ入力枠を削除してください。

【研究分担者となることを依頼するにあたって】

- ・ 研究者に研究分担者となることを依頼する場合には、必ず以下の内容を研究分担者に確認し承諾が得られることを踏まえた上で、依頼をしてください。

- ①当該研究課題について、研究計画の遂行に関して研究代表者と協力しつつ、補助事業者として研究遂行責任を分担して研究活動を行う研究分担者となること
②科研費の補助条件（交付条件）及び以下の(a)(b)(c)を理解し、遵守するとともに研究代表者から分擔金の配分を受け科研費を適正に使用すること

- (a)学術研究に対する国民の負託及び科研費が国民の貴重な税金で賄われていることを十分認識し、科研費を適正かつ効率的に使用するとともに、研究において不正行為を行わないこと
(b)当該研究課題の交付申請前まで（交付決定後においては、研究代表者が日本学術振興会に研究分担者の変更承認申請を行う前まで）に研究倫理教育教材（『科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心構－』日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会、研究倫理eラーニングコース（e-Learning Course on Research Ethics [eL CoRE]）、APRIN eラーニングプログラム（eAPRIN）等の通読・履修をすること、または、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（平成26年8月26日 文部科学大臣決定）を踏まえ研究機関が実施する研究倫理教育の受講をすること
(c)当該研究課題の交付申請前まで（交付決定後においては、研究代表者が日本学術振興会に研究分担者の変更承認申請を行う前まで）に日本学術会議の声明「科学者の行動規範－改訂版－」や、日本学術振興会「科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心構－」の内容のうち、研究者が研究遂行上配慮すべき事項について、十分内容を理解し確認すること

	承諾状況	区分	氏名（年齢）	所属研究機関 部署 職	1.学位 2.役割分担	2023年度 研究経費 （千円）	エフォート （%）
		研究代表者	（研究者番号）99999999 （フリガナ）ダイヒョウ イチロウ （漢字等）代表 一郎 （年齢）00才	AAA大学 AA学部 教授	1.* 2.*	*	*
▲ 削除 ▼		* 研究分担者▼	*（研究者番号） 検索 （フリガナ） （漢字等） （年齢）		1. 2.*	*	
▲ 削除 ▼	☐ 依頼する	* 研究分担者▼	*（研究者番号） 検索 （フリガナ） （漢字等） （年齢）		1. 2.*	*	
▲ 削除 ▼	分擔者未承諾 （不承諾理由 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0）	研究分担者	（研究者番号）12345678 検索 （フリガナ）ブantan イチロウ （漢字等）分擔 一郎 （年齢）	BBB大学 BB学部 教授	1. 2.*	*	
▲ 削除 ▼	分擔者未確認	研究分担者	（研究者番号）12341234 検索 （フリガナ）ブantan ジロウ （漢字等）分擔 二郎 （年齢）	CCC大学 BB学部 教授	1. 2.*	*	
追加							

研究組織人数 5名

画面を表示してから29分経過

一時保存

→ 一時保存をして次へ進む

一時保存

一時保存をして戻る

保存せずに戻る

ログアウト

応募情報（Web入力項目）画面イメージ（終了研究領域）
【新学術領域研究（研究領域提案型）－研究計画調書（「研究経費とその必要性」）】①

JSPS
科研費電子申請システム

ヘルプログアウト

応募者向けメニュー> 研究計画調書作成（応募情報入力> 応募情報又は研究計画調書確認> 応募情報又は研究計画調書確認完了）

応募情報入力（研究経費とその必要性）

Japanese・English

画面を表示してから29分経過

最終保存日時：XXXX年XX月XX日 XX時XX分

<注意事項>

- *のついた項目は必須項目です。
- 入力中に、一定時間、ボタン操作をせずにおくと、セッションタイムアウトにより、入力した情報が保存されない場合があります。随時[一時保存]ボタンをクリックして情報を保存して下さい。もし、セッションタイムアウトのエラーメッセージが出た場合は、「電子申請のご案内」ページの「よくあるご質問」をご参照下さい。
- 「研究計画調書管理」に戻る場合は、[一時保存をして戻る]ボタンをクリックしてください。
- 複数ウィンドウ（複数タブ）を開いて利用すると、システムが正常に動作しない場合があります。複数ウィンドウでのご利用は控えてください。

一時保存をして次へ進む

一時保存

一時保存をして戻る

保存せずに戻る

令和5(2023)年度 新学術領域研究（研究領域提案型）（継続の研究領域・終了研究領域）
研究計画調書

【研究経費（千円未満の端数は切り捨てる）】

本欄には、各経費の明細およびその必要性・精算根拠について、研究計画調書（添付ファイル項目）を踏まえ入力等をしてください。また、本研究のいずれかの年度において、各費目（設備備品費、旅費、人件費・謝金）が当該年度の全体の研究経費の90%を超える場合及びその他（消耗品費、その他）の費目で、特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の必要性（内訳等）を記述してください。

入力に当たっては、研究計画調書（Web入力項目）作成・入力要領を参照してください。

研究経費と使用内訳は、各経費の明細の入力内容から自動で計算されます。各経費の明細の入力が全て完了したら、再計算ボタンをクリックしてください。

各経費の明細は一時保存時に年度の昇順でソートされて保存されます。

各経費の明細は、所定のフォーマットのCSVファイルを取り込むことで一括に画面に反映することができます。CSVファイルを選択し、CSV取込ボタンをクリックしてください。

CSVファイルの取り込みを行うと、画面の入力内容を破棄し、CSVファイルの入力内容で画面を再表示します。

CSVファイルのフォーマットは[こちら](#)からダウンロードしてください。

CSVファイル取込機能の仕様の詳細は操作手引きをご参照ください。操作手引きのダウンロードページは右上のヘルプボタンから開くことができます。

画面に表示している各経費の明細の入力内容をCSVファイル形式で出力することができます。出力する場合はCSV出力ボタンをクリックしてください。

ファイルの選択

ファイルが選択されていません

CSV取込

CSV出力

年度	研究経費 (千円)	使用内訳 (千円)				
		設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
2023年度	0	0	0	0	0	0
2024年度	0	0	0	0	0	0
総計	0	0	0	0	0	0

【設備備品費、消耗品費の明細（千円未満の端数は切り捨てる）】

再計算

(金額単位：千円)

設備備品費						
	年度	品名・仕様	設置機関	数量	単価	金額
削除	*	*	*	*	*	*
	▼			0		0
削除	*	*	*	*	*	*
	▼			0		0
削除	*	*	*	*	*	*
	▼			0		0
追加						
合計						0

(金額単位：千円)

消耗品費			
	年度	事項	金額
削除	*	*	*
	▼		0
削除	*	*	*
	▼		0
削除	*	*	*
	▼		0
追加			
合計			0

設備備品費、
消耗品費
の必要性

(500字以内。英文（半角）の場合は1000字以内。改行は3回まで入力可。改行は表示上0文字ですが、1回あたり全角1文字分として換算されます。
上記の必要性等について、必ず入力してください。)

入力文字数：0文字

画面を表示してから29分経過

一時保存

応募情報（Web入力項目）画面イメージ（終了研究領域）
 【新学術領域研究（研究領域提案型）－研究計画調書（「研究経費とその必要性」）】②

【旅費、人件費・謝金、その他の明細(千円未満の端数は切り捨てる)】

再計算

(金額単位:千円)

国内旅費			
	年度	事項	金額
削除	*	*	*
削除	*	*	*
削除	*	*	*
追加			
合計			0

(金額単位:千円)

外国旅費			
	年度	事項	金額
削除	*	*	*
削除	*	*	*
削除	*	*	*
追加			
合計			0

再計算

(金額単位:千円)

人件費・謝金			
	年度	事項	金額
削除	*	*	*
削除	*	*	*
削除	*	*	*
追加			
合計			0

(金額単位:千円)

その他			
	年度	事項	金額
削除	*	*	*
削除	*	*	*
削除	*	*	*
追加			
合計			0

旅費
 人件費・謝金
 その他の必要性

(500字以内。英文(半角)の場合は1000字以内。改行は3回まで入力可。改行は表示上0文字ですが、1回あたり全角1文字分として換算されます。
 上記の必要性等について、必ず入力してください。)

入力文字数: 0文字

画面を表示してから29分経過

一時保存

→ 一時保存をして次へ進む

一時保存

一時保存をして戻る

保存せずに戻る

ログアウト